

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態治療III(脳神経・骨筋肉)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	14 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	203,202
担 当 教 員	皆巳 和賢	実務経験と その関連資格	医学研究歴14年、専門学校講師歴10年			
《科目目標》						
脳神経機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態。治療について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカEX 疾病と看護⑤脳・神経(メディカ出版)						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業後に復習し、わからないところは確認し理解を深める。						
《履修に当たっての留意点》						
神経のしくみで学んだ正常な脳神経の構造と機能を基に、そこから逸脱した状態が起こるメカニズム、検査、治療について学ぶ。本科目では臨床で経験することの多い疾患を重点的に学ぶ。学習した内容は各看護学で対象の状態を判断し看護を提供する根拠につながる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経内科学の基礎—神経生理、解剖、病理を理解する	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	神経学総論 I			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経内科学の臨床—診察法、補助検査、結果の解釈を知る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	神経学総論 II			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	もともとポピュラーな疾患についての概念を得る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	神経学各論 I 脳血管障害			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	もともとポピュラーな疾患についての概念を得る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	脳腫瘍、頸部外傷、脳脊髄液異常、脊髄血管異常、脊髄炎			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	もともとポピュラーな疾患についての概念を得る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	神経変性疾患(アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、ハンチントン症)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	もっともポピュラーな疾患についての概念を得る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害、神経筋疾患、脱髄性疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	もっともポピュラーな疾患についての概念を得る	教科書 配布プリント	毎回の復習を行い理解を深める。
		各コマにおける授業予定	感染症、中毒、てんかん、内科疾患に伴う神経疾患		